

2013年10月30日  
イオンエンターテイメント株式会社

**イオンシネマ東員 オープン記念  
『キネ旬映画祭 ～スクリーンによみがえるキネマ旬報ベスト・テン～』**

**11/23(祝・土)～12/20(金)、週替わりで名作4本を特別上映！！**

イオンエンターテイメント(株)は、新劇場「イオンシネマ東員」(三重県員弁郡東員町)のオープンを記念して、映画誌「キネマ旬報」がこれまでに選出したベスト・テン受賞作品の中から、選りすぐりの4本を特別上映する『キネ旬映画祭 ～スクリーンによみがえるキネマ旬報ベスト・テン～』をイオンシネマ東員で11月23日(祝・土)から12月20日(金)まで開催いたします。

スクリーンで上映される機会の少ない名作にもスポットを当て、国内で最も権威ある映画賞として、日本中の映画ファンから厚い信頼を寄せられている「キネマ旬報ベスト・テン」。

今回の上映作品は、「月はどっちに出ている」「シカゴ」「全身小説家」「ナッシュビル」。ヒューマンドラマあり、ミュージカルあり、ドキュメンタリーあり、という多彩なラインアップです。劇場のオープン記念イベントでのこうした名作のセレクト上映は今回が初めての企画です。映画史に残る傑作をこの機会にぜひ映画館の大スクリーンでお楽しみください。



「シカゴ」

©2002 Miramax Film Corp. All Rights Reserved

記

【名称】 『キネ旬映画祭 ～スクリーンによみがえるキネマ旬報ベスト・テン～』

【期間】 11月23日(祝・土)～12月20日(金)

【上映作品】 11/23(祝・土)～11/29(金) 「月はどっちに出ている」(109分)  
11/30(土)～12/6(金) 「シカゴ」(114分)  
12/7(土)～12/13(金) 「全身小説家」(147分)  
12/14(土)～12/20(金) 「ナッシュビル」(160分)

【鑑賞料金】 大人・大高生・シニア:1,000円 中学生以下:800円

【会場】 イオンシネマ東員 TEL 0594-86-1572

○キネマ旬報ベスト・テンとは

その年を代表する「日本映画」「外国映画」を10本選出する、世界的にも長い歴史を持つ映画賞。1924年度(大正13年)、当時の編集同人の投票集計により、ベスト・テンを選定したのが始まり。選出者は、映画を多く見ている映画通に厳しく限定され、更にその年齢・所属の幅(映画評論家、日本映画記者クラブ員など)も広いため、業界内外から「当年の映画界の実勢を反映する最も中立的で信頼に足る映画賞」と評価する声が高い。

# キネ旬映画祭

スクリーンによみがえるキネ旬報ベスト・テン

## ■イオンシネマ東員での上映作品



©『月はどっちに出ている』製作委員会  
／SUMOMO Ltd.

### 「月はどっちに出ている」

**\* 1993 年度日本映画第 1 位**

監督: 崔洋一 出演: 岸谷五朗、ルビー・モレノ、絵沢萌子

在日朝鮮人のタクシー運転手、忠男とフィリピン人のコニーの恋愛を軸に東京に暮らす人々のたくましい日常が映し出される。(上映時間: 109 分)



©2002 Miramax Film Corp. All Rights Reserved

### 「シカゴ」

**\* 2003 年度外国映画第 8 位**

監督: ロブ・マーシャル

出演: レニー・ゼルウィガー、キャサリン・ゼタ=ジョーンズ、リチャード・ギア

1920 年代のシカゴを舞台にスターを目指す 2 人の女と、彼女たちの運命を巧みに操る弁護士の姿を描いたミュージカル。(上映時間: 114 分)



©疾走プロダクション

### 「全身小説家」

**\* 1994 年度日本映画第 1 位**

監督: 原一男 出演: 井上光晴、埴谷雄高、瀬戸内寂聴

戦後社会を根源的に問い、差別を告発し続けた作家・井上光晴が死に至るまでの 5 年を追った渾身のドキュメンタリー。(上映時間: 147 分)



©株式会社日本スカイウェイ

### 「ナッシュビル」

**\* 1976 年度外国映画第 6 位**

監督: ロバート・アルトマン

出演: デイヴィッド・アーキン、バーバラ・バクスレイ、ネッド・ビーティ

カントリー&ウエスタンのメッカとして有名なナッシュビルに集まった 24 人の 5 日間の行動を通して素顔のアメリカを描く。(上映時間: 160 分)